

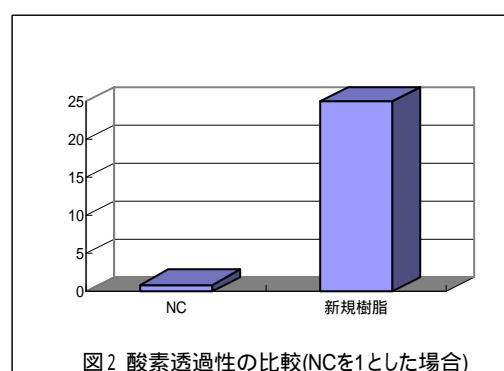
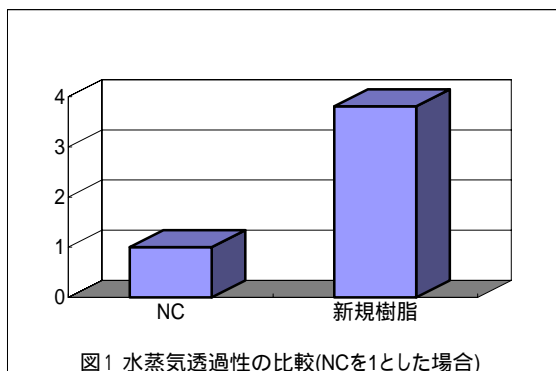
世界初！(株)コーセーと(株)シードの共同研究により 爪の負担を軽減し、空気を通すネイルエナメル用新素材を開発

株式会社コーセー(本社:東京都中央区 代表取締役社長 小林保清)はネイルエナメルがおよぼす爪への負担に着目し、株式会社シード(本社:東京都文京区 代表取締役社長 井上 忠)との共同開発により「水蒸気透過性」と「酸素透過性」に優れたネイルエナメル用の新規樹脂『O₂トランスファクター』を開発しました。

従来から一般的なネイルエナメルでは、膜の形成剤として「ニトロセルロース」が用いられています。「ニトロセルロース」は塗膜強度が高く、かつ平滑性や光沢に優れた樹脂で、ネイルエナメルにとって重要な素材です。しかし、水蒸気透過性や酸素透過性が低いため、閉塞感があり、爪への大きな負担になっていました。

今回共同開発した『O₂トランスファクター』は、水蒸気透過性、酸素透過性が求められるコンタクトレンズなどに用いられているアクリル系の樹脂とシリコン系の樹脂の共重合体^{*})です。コーセーではこの樹脂をネイルエナメルへの応用を目指して研究を行った結果、爪にやさしいネイルエナメルの製品化が可能になりました。今回新規開発した『O₂トランスファクター』は、「ニトロセルロース」と比較し、約3.8倍の水蒸気透過性(図1)、約2.5倍の酸素透過性(図2)を有しており、爪への負担を大幅に軽減することができます。また、これらのことから二次的効果として、ネイルエナメルにおいてもひとつの悩みであった乾燥速度まで高めることができました。

今回開発しました樹脂を応用したネイルエナメルは今後製品化を予定しています。



* トリス(トリメチルシリロキシ)シリルジビニルマクリレート、メチルマクリレートおよびマクリル酸の共重合体シリコン樹脂 = O₂トランスファクター

<背景>

この数年、美容室やエステサロン、ショッピングセンター内などにネイルサロン(有料で爪にネイルエナメルを塗り美しく整えてくれる場所)が急激に増えてきました。ネイル専門雑誌なども各紙発売され、爪に模様を描いたり飾りをつけたりするネイルアートが盛んになっています。夏になると素足にサンダルを履く女性が増え、足にもペディキュアをつけることが習慣化しつつあります。爪そのものがアクセサリー化してきています。

ネイルエナメル使用率は約6割

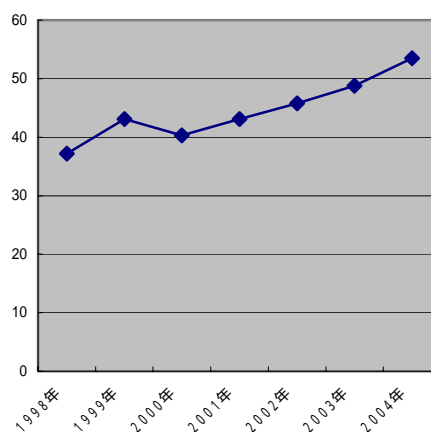
ネイルエナメル(マニキュア)の使用率は年々上昇しています。コーセーが行った一般消費者意識調査によると10代~40代前半の女性の約6割はネイルエナメルを使っていることがわかりました。毎日つけているものだからこそ爪への負担感がないものが求められています。

コーセー一般消費者調査 ネイルエナメル使用率

	16~64才	16~44才
1998年	37.2%	45.5%
1999年	43.1%	48.4%
2000年	40.3%	46.7%
2001年	43.1%	46.7%
2002年	45.8%	52.3%
2003年	48.8%	52.8%
2004年	53.5%	59.8%

16~64才の女性 N=650人

マニキュア使用率(全年齢)



指先に色があると元気になれる

手には年齢が出ると言われ、人の目に触れやすいことから、年齢を重ねた女性は指先を美しく見せるためにネイルを塗る傾向があります。指先に色があることで肌がきれいに見えたり、自分の目に爪の色が見えることで明るい気分になれるとも言われています。

コーセーが行った一般消費者意識調査によると、「化粧すると元気な気持ちが湧いてくる」と考えている方が78.5%おり、年代別に見ても60代では86.7%の方が元気になれると答えています。

